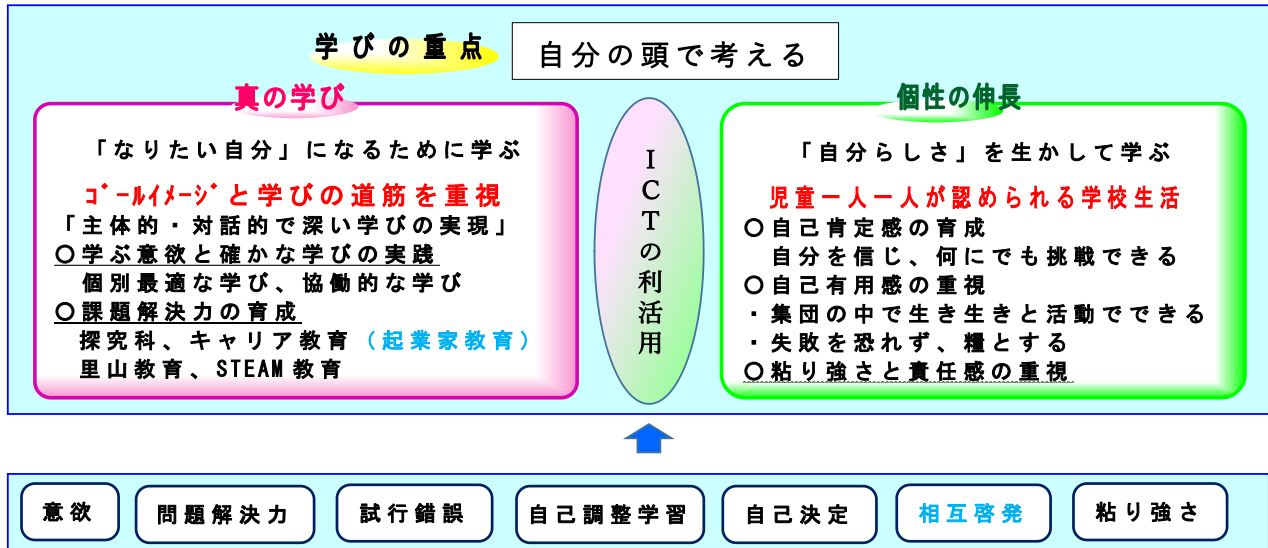




# 帝京大学小学校だより

## 44名の新1年生を迎えて さらに高見に

帝京大学小学校 校長 石井卓之



私が校長に着任してから5年目となりました。学びの重点に置いてきた「自分の頭で考える」という言葉が子どもたちや保護者から多様な場面で聞かれるようになりました。また、日常の学校生活でも実践を伴ってきていることに、大きな手応えを感じています。

昨年度、キャリア教育の発展形である起業家教育として取り組み始めた4年生の「帝小カフェ」、5年生の「帝小カンパニー」も、今年度はさらにバージョンアップして実施できそうな見通しが立ちました。特に、本校で情報モラル教育を実施している教育ネットとは産学連携として、5年生が制作した作品を3Dプリンターで製品化するための検討に入りました。未だ未だ未知の領域ですが、うまくいくとおもしろい展開となるかもしれません。また、これまで体験型キャリア教育として、各学年2企業で実施していたプログラムを、今年度は3年生以上、各学年3企業にしていきます。1・2年生は、低学年遠足としてキッザニアに行き、より体験型の活動としていきます。保護者会等で学年から説明をさせていただきますが、お迎えのご協力をよろしくお願いいたします。

3年生以上の体育の器械運動で活用している運動学習支援アプリの「スポテク」についても、(株)MIZUTORIが今年度もスポーツ庁の委託事業となり次第、昨年同様に本校がアンバサダー校として開発に協力し、1年間無料で使用を認めてもらいます。さらに陸上運動での試行が始まりますので、それにも協力していきます。

里山教育もいくつかのプログラムができ上がり、学年の年間計画に入れられるようになってきています。昨年度から始まったクラブ活動としての里山クラブも活動の幅が広がってきています。まずは、色々な活動に挑戦しながら、課題解決力の育成、子どもたちの発想の拡散など、活動のねらいに適したものは、伝統として位置付けていきます。夢は、小学校内のサステナブル社会の構築です。

学校が単独で多様な教育活動を行う時代は終わったと考えています。本校の教育活動に賛同し、子どもたちの未来を切り拓く取り組みを行っている企業や大学、団体、NPO等とは、今後もどんどんWIN-WINの関係で協働していきます。そのため、可能な限り企業や団体等のCSR活動にも協力したり、大学の調査研究にも参加したりしていきます。後日、お願いする授業場面の写真や子どもの作品（感想、イラスト、制作物）の掲載、アンケートへの協力等について趣旨をご理解の上、ご理解をいただけますと助かります。

今年度ホームページをリニューアルします。先進的な取り組みや子ども中心の教育活動をさらに積極的に掲載していきます。ご覧いただき、身近にいらっしゃる方にも帝京大学小学校のよさをご紹介いただけると幸いです。